

金沢版総合戦略の 取組状況

平成29年9月
金 沢 市

金沢版総合戦略の概要

【金沢市人口ビジョン】

2060年の金沢市の人口 国の推計 34万7千人
↓
【自然減】合計特殊出生率：2040年 2.07に向上
【社会減】転入の増加、転出の抑制を図る
↓
2060年の金沢市の人口 43万2千人確保
(国の推計より8万5千人増加)

【金沢版総合戦略】

推進期間：平成27年度～平成31年度（5年間）
4つの基本目標：各々に数値目標を設定
具体的な施策：重要業績評価指標（KPI）を設定
↓
進捗管理：数値目標とKPIを使用し、PDCAサイクルにより効果検証・改善を実施

金沢版総合戦略の概要 4つの基本目標

基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

- 【数値目標】 • 合計特殊出生率 1.43 (H25) → 1.6 (H31)

基本目標2 学都金沢の強みを生かし、学生がまちに愛着を持ち、人々が集うまちをつくる

- 【数値目標】 • 市外へ就職する学生数を1割減 2,000人 (H26) → 1,800人 (H31)

基本目標3 新幹線開業を契機に、産業と雇用が創出されるまちをつくる

- 【数値目標】 • 金沢地域への観光入込客数 844万人 (H26) → 1,080万人 (H31)
• 「金沢かがやきブランド」認定製品数 未実施 (H26) → 50品 (H31)

基本目標4 周辺地域と連携し、暮らしやすいまちをつくる

- 【数値目標】 • 石川中央都市圏ビジョンの策定 未策定 (H26) → 策定完了 (H31)

平成28年度 実施状況の概要

基本目標1 若い世代に優しく、子育ての喜びが実感できるまちをつくる

【数値目標】 • 合計特殊出生率 1.43 (H25) → 1.49 (H27) → 1.6 (H31)

主な施策の平成28年度の実施状況

(1) 妊娠から出産・育児までの切れ目のない支援

- ワンストップ拠点（本庁及び福祉健康センター）での母子保健コーディネーターによる総合支援を実施
- 生後間もない乳児の育児相談ができるベビースペース「hug」を開設



(2) 金沢らしい子育てサポートの推進

- 駅西地区・中央地区において、未就学児の一時預かりを実施
- トイレ・授乳室の位置情報や保育所・児童館のイベントを検索する子育てアプリを開発
- 子育てサービスの利用者負担軽減や親子のふれあいを支援するクーポンを交付



(3) 結婚の希望をかなえるための環境づくり

- NPO等の市民団体との協働により、結婚を希望する若者を支援
- 若者を対象にインターンシップやセミナーを実施し、早期就労を支援するほか、就労後の離職防止のセミナーを開催



(4) 女性が活躍しやすい環境づくり

- 女性活躍促進プロジェクト参加企業をモデル企業として選定し、職場環境の改善につながる取り組みを支援
- 再就職を希望する女性を対象に、サービス業界等とのマッチング交流会を開催し、早期就労を支援
- 雇用環境の改善に積極的に取り組む企業を表彰し、企業活動をPR



主なKPIの状況

・産後ケアサポート人材数	132人 (H26) → 147人 (H28) → 200人 (H31)
・駅西地区の子ども一時預かり施設利用者数	未実施 (H26) → 1,190人 (H28) → 2,000人 (H31)
・出会いイベント参加者数	未実施 (H26) → 50人 (H28) → 200人 (H31)
・女性活躍促進モデル企業選定数（累計）	未実施 (H26) → 8企業 (H28) → 14企業 (H31)

基本目標2 学都金沢の強みを生かし、学生がまちに愛着を持ち、人々が集うまちをつくる

【数値目標】 • 市外へ就職する学生数を1割減 2,000人（H26） → 1,962人（H28） → 1,800人（H31）

主な施策の平成28年度の実施状況

（1）高等教育機関等と連携した「学都金沢」の推進

- 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）との連携により、新たな雇用創出や学生の地元定着を促進
- インターンシップによる学生と企業との交流の機会を充実
- 「金沢の企業を知ろう」をテーマに学生等を対象とした企業説明会や見学会を開催
- 企業と連携して商品開発に取り組む全国の学生とのワークショップを開催
- 金沢市立工業高校において、金沢型工業教育モデルの実践を通して「ものづくり」の感性と人間力を身につけた創造性豊かな人材を育成



企業見学会

平成27年度採択（COC+事業）
文部科学省
地（知）の拠点

（2）金沢らしさを生かした移住・定住の促進

- まちなか定住促進制度におけるUJITURN世帯に対する上乗せの拡大や郊外部への移住に対する助成制度を創設
- 移住促進など首都圏在住者向けの施策をPRするため、出前講座を開催
- 金澤町家情報館を開設し、金澤町家の保全活用に関する相談やコンサルティングを実施



金澤町家情報館

（3）まちに愛着を持つ人材の育成

- 入学から就職までの学生生活を支援する学都アプリを開発
- 子どもが金沢の歴史や文化を学ぶ機会を提供するためジュニア金沢検定を開催



学都アプリ「かなざわ学さぼ」

主なKPIの状況

• 学生と企業との商品開発数（累計）	未実施（H26）	→ 3商品（H28）	→ 10商品（H31）
• 住宅支援制度の活用による県外からの移住者数	47人（H26）	→ 86人（H28）	→ 77人（H31）
• 県外からの金澤町家購入・賃貸成約件数（累計）	3件（H26）	→ 6件（H28）	→ 13件（H31）
• ジュニア金沢検定受験者数	5,979人（H26）	→ 6,770人（H28）	→ 8,000人（H31）

基本目標3 新幹線開業を契機に、産業と雇用が創出されるまちをつくる

【数値目標】

- ・金沢地域への観光入込客数 844万人（H26）→ **1,033万人（H28）** → 1,080万人（H31）
- ・「金沢かがやきブランド」認定製品数 未実施（H26）→ **18品（H28）** → 50品（H31）

主な施策の平成28年度の実施状況

（1）新幹線開業による観光産業の強化

- ・滞在型観光やMICE促進をめざし、民間事業者や周辺市町と連携し、金沢版DMO（観光マネジメント組織）を構築
- ・歴史や伝統文化に関心の高い欧州からの誘客を促進するため、広域観光ルートの形成やPR等を展開
- ・金沢港発着クルーズの定着に向けた旅行会社等への販売活動の支援



金沢港に寄港したコスタビクトリア

（2）金沢ブランドを活用した独自産業の創出

- ・中小企業者が開発した優秀な新製品等を「金沢かがやきブランド」として認定
- ・加賀野菜の消費拡大をめざし、商店街と連携した加賀野菜フェアの開催や取扱店でのキャンペーンを実施



金沢かがやきブランド認定製品

（3）小規模企業者・店舗等への支援

- ・小売業、飲食業等の起業にチャレンジする若者を、奨励金や家賃助成、アドバイザー派遣で支援
- ・活力ある商店街を継承するため、空き店舗となってから1年以内に新規出店する店舗へ助成
- ・見本市へ自社製品を出品する中小企業等に助成

（4）多様な主体との連携による新分野産業の創出

- ・ITビジネスプラザ武蔵の交流・創造機能を強化するため、交流の場の設置やコーディネーターを配置
- ・首都圏等から優秀なクリエイターを誘致
- ・企業の本社機能の移転・拡充にかかる土地、建物整備等に対し助成



ITビジネスプラザ武蔵

主なKPIの状況

・年間宿泊客数	275万人（H26）	→ 308.4万人（H28）	→ 314万人（H31）
・年間外国人宿泊客数	20万人（H26）	→ 39.6万人（H28）	→ 37万人（H31）
・起業チャレンジ若者支援件数（累計）	9件（H26）	→ 22件（H28）	→ 21件（H31）
・クリエイター誘致件数（累計）	未実施（H26）	→ 6人（H28）	→ 10人（H31）

基本目標4 周辺地域と連携し、暮らしやすいまちをつくる

【数値目標】 • 石川中央都市圏ビジョンの策定 未策定 (H26) → 策定完了 (H27) → 策定完了 (H31)

主な施策の平成28年度の実施状況

(1) 圈域連携による経済・生活圏の形成

- 圈域全体の農業活性化を図るため、2市2町による河北潟農産物ブランド化推進連絡会を設置



河北潟収穫体験

(2) コンパクトシティの形成

- 集約型まちづくりに向けて集約都市形成計画を策定
- 公共レンタサイクル「まちのり」のポートを寺町に新設



寺町ポート

(3) コミュニティ環境の充実

- 地域課題の解決や協働に関するアドバイスを行う人材を育成するファシリテーター講座を開催
- 買い物支援など地域の諸課題の解決をめざすコミュニティビジネスの起業から自立までを支援



ファシリテーター講座

(4) 元気な中山間地域の形成

- 中山間地域の遊休農地や空き家を活用して、新規就農や農業体験の希望者を誘致
- 山間部等の交通不便地域において、住民主体で運営するバス等の運行を支援
- 森林所有者等による森林整備を促進するため、間伐材等を地域通貨に交換するモデル事業を実施



地元農家とのビール麦の収穫



木の駅プロジェクト

(5) あらゆる世代が健康に暮らせる地域づくり

- 地域の団体等が協力して、日常生活に支援を必要とする高齢者世帯等を支えるためのサポート体制を構築
- 金沢健康プラザ大手町を中心に健康教室などを実施



健康教室

主なKPIの状況

- 公共レンタサイクル「まちのり」利用回数 130,885回 (H26) → 214,770回 (H28) → 180,000回 (H31)
- かなざわコミュニティコーディネーター育成数（累計）未実施 (H26) → 22人 (H28) → 50人 (H31)
- 地域に定着したコミュニティビジネス事業数（累計）16事業 (H26) → 21事業 (H28) → 24事業 (H31)